



同年生まれの弥彦と啄木 日記に映る明治の姿

上流階級出身で東京帝国大学学生の「三島弥彦」(後に日本初の五輪代表選手)、高等教育機関への進学の道を閉ざされ貧窮生活にあえぐ「石川啄木」。同じ年(1886年)に生まれた二人の青年の明治41年(1908年)の日記を読み解き、日露戦争後の時代の雰囲気伝える。

弥彦と啄木——日露戦後の日本と二人の青年

内藤一成:著 芙蓉書房出版

A5判並製 400頁 2024年2月刊 ISBN:9784829508749 2,970円



カフェー女給の盛衰史 都市風俗が語る時代

明治・大正・昭和の時代、繁華街のカフェーを盛り上げた「女給」はどのように生まれ、どう広がり、そしてどうして消えていったのか。さまざまなエピソードで綴る都市風俗史。

♥女給の始まりは活動写真館の案内娘から ♥昭和初期のカフェーは永井荷風らの小説の舞台になった

女給の社会史

篠原昌人:著 芙蓉書房出版

四六判並製 240頁 2023年11月刊 ISBN:9784829508701 2,530円



デジタル革命と独裁政治 新時代の権威主義を考察

近年、権威主義体制はデジタル技術を駆使して統治を強化し、市民の監視や情報戦を展開している。本書は各国の事例を分析し、独裁者の戦略変化を示すなど、デジタル技術が政治体制にどのような影響を及ぼすかを考察する一冊である。

デジタル権威主義——技術が変える独裁の“かたち”

大澤 傑:編著 芙蓉書房出版

A5判並製 272頁 2024年9月刊 ISBN:9784829508855 3,300円

* 価格は10%税込、2025年1月のものです。

受賞出版社紹介

第40回梓会出版文化賞

ありすし
亜璃西社

1988年に札幌で創業した出版社です。本州とは異なる北海道独自の〈歴史・ネイチャー・カルチャー〉を軸に、新たな視点で北の大地の魅力を伝えてきました。出版活動を通じてわたしたちは、北海道の歴史や自然、文化を記録し、道民の地域への愛着心を育んでいきます。



第40回梓会出版文化賞 特別賞

東京化学同人

海外の良質な化学書を日本でも読めるよう、1961年に出版活動をスタート。国内外の科学者の知を、研究と教育の現場につなげる本を出しています。現在は化学だけでなく理工書全体に分野を広げ、辞典や雑誌、啓蒙書まで、科学に関する内容を多角的に伝えることを目指しています。



第21回出版梓会新聞社学芸文化賞

じゅうしや
寿郎社

2000年創業の札幌の出版社です。アイヌ関連や地元・泊原発に反対する本などを出していますが、北海道にこだわった本ばかりでなく、「いま多くの人に伝えなくてはならない」「いまは伝わらなくても出版しておきたい」本を全国に向けて出版しています。寿郎社の「寿郎」は社長の名前です。



第21回出版梓会新聞社学芸文化賞 特別賞

芙蓉書房出版

1951年創業の小社は、当初は太平洋戦争史関係の図書が中心でした。1993年に法人改組をした後、戦術研究、国際政治、日本近現代史、ヴィジュアル江戸本などを新たな分野に加えました。現在では、学術研究書、史料図書を軸に、年間約20点の新刊書を刊行しています。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

「第40回梓会出版文化賞」
「第21回出版梓会新聞社学芸文化賞」
が決まりました！

この賞は、優れた出版活動を行っている“出版社”を顕彰するユニークな賞です。この号では受賞社の紹介と各社イチオシの近著をご紹介します。

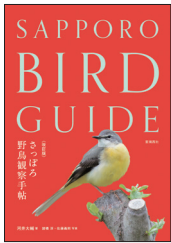
賞の詳細は、梓会HPまで。
<https://www.azusakai.or.jp/>



番外編
2025

出版梓会
データダウンロードはこちら⇒





従来の図鑑にない斬新な誌面の 北海道アーバン・バードガイド

愛らしい鳥たちが目の前にいるかのような臨場感が楽しめる、多様なアングルの写真と生息環境を生かした斬新なレイアウトが好評の入門図鑑。札幌をはじめとする北海道の各都市で見られる123種を、見分けのポイントまでしっかり解説した、北海道の〈都市型図鑑〉最新版です。

改訂版 さっぽろ野鳥観察手帖

河井大輔:著 諸橋 淳:写真・イラスト 佐藤義則:写真 亜璃西社

A5判並製 288頁 2023年12月刊 ISBN:9784906740611 2,200円



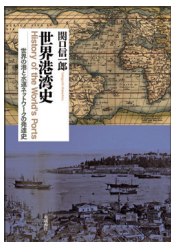
謎多き精神世界と生活文化を 読み解くビジュアルブック

2021年、世界文化遺産に登録された北の縄文文化。その謎多き精神世界と生活文化を、各地の遺跡と出土品から読み解くビジュアルブックです。従来の時間軸ではなく、つくる・すまう・かる・たべる・いのるなど幅広いテーマを通して、豊饒な世界を生み出したその実像に迫ります。

北海道の縄文文化 こころと暮らし

「北海道の縄文文化 こころと暮らし」刊行会:編著 三浦正人:監修 亜璃西社

B5判変型並製 300頁 2021年12月刊 ISBN:9784906740505 3,960円



海上交易と港湾発展の歩みを 世界史から俯瞰する初の通史

古代から人類の経済活動を支えてきた海上交易と港湾。その歴史を、ヴェネチア、上海、アムステルダム、ニューヨークなど主要港の変遷とともに、世界史の視点から俯瞰した初の通史です。加えて日本近代土木工学が果たした役割も明らかに。2024年、日本港湾協会企画賞受賞。

世界港湾史——世界の港と水運ネットワークの発達史

関口信一郎:著 亜璃西社

A5判並製 288頁 2023年10月刊 ISBN:9784906740604 3,960円



北海道の市場で聞いたんだけど今年は「イカがない…」と函館の漁師さんが頭を抱えてるんだって… 積丹でもウニが減る一方らしい。海の異変がくらしに迫るね



驚くほど簡潔な数学が 世界を変える！

グーグルで情報革新を担った著者が語る、数学の威力と魅力。話題の生成AIやノーベル賞受賞が記憶に新しいディープラーニング、便利なウェブ検索や機械翻訳から暗号資産まで。世界を大きく変えた科学技術は、あっと驚く数学の発想により生み出されてきた。

数学の美——情報を支える数理の世界

呉 軍:著 持橋大地:監訳 井上朋也:訳 東京化学同人

A5判並製 392頁 2024年12月刊 ISBN:9784807920525 3,960円



古代の生物世界へようこそ！ 生命の進化はこんなにも面白い

化石が物語るカンブリア紀の珍妙な生物、激変する気候と大量絶滅、水を離れて陸上へ移動する生物たち、恐竜の繁栄と最期、人類の誕生…。地球を舞台に繰り広げられてきた生物の進化が、今、急速に解明されつつある。美しい写真や図も豊富な充実の生命史。

コーウェン地球生命史 第6巻

マイケル・ベントン:編 ロバート・ジェンキンス、久保 泰:監訳 東京化学同人

B5判変型並製 304頁 2023年7月刊 ISBN:9784807920488 5,390円



ジェンダー公正を求めて わたしたちはバトンをつなぐ！

米国の女性科学者たちは、科学界のジェンダーギャップにどのように向き合い、変えてきたのか。著しい性差別のあった時代に科学者を志し、米国のサイエンスを主導する組織の長官となった著者が、男女問わず呼びかける。「科学の未来のために何ができるか」

女性が科学の扉を開くとき——偏見と差別に対峙した六〇年 NSF長官を務めた科学者が語る リタ・コルウェル、シャロン・B・マクレイン:著 大隅典子:監訳

古川奈々子:訳 東京化学同人

四六判並製 344頁 2023年11月刊 ISBN:9784807920501 3,520円



気鋭の社会学者らによる 〈地域史研究〉の比類なき一冊

最後の坑内掘炭鉱の閉山から30年をへて明らかにされた〈坑内での働き方〉〈事故の状況〉〈賃金〉〈住宅〉……。北海道の炭都・芦別に移住し、働き、暮らし、そして去っていった膨大な人々の足跡を気鋭の社会学者らが記録した〈地域史研究〉の比類なき一冊。

芦別——炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史

嶋崎尚子、西城戸 誠、長谷山隆博:編著 寿郎社

B5判並製 340頁 2023年12月刊 ISBN:9784909281562 4,400円



戦争に突き進む政府と司法に 抗う北の人々の声

安保法制違憲北海道訴訟は、原告417人が2017年に札幌地裁に提訴し、2019年に一審判決が、2021年に高裁判決が出て終わった。その132人の意見書などを収録。戦争の道を進む政府・司法への批判とこれからの歴史を作るための〈論拠〉を集成した本。

〈戦争法制〉を許さない北の声——安保法制違憲北海道訴訟の記録

高崎 暢:編 寿郎社

A5判並製 794頁 2023年7月刊 ISBN:9784909281548 4,950円



「ヤジ排除事件」の 本当の恐ろしさは何か

2019年に札幌で起こった「ヤジ排除事件」の本当の恐ろしさ——それは市民を排除したのが「普通の警察官」ではなく「公安警察」だったこと。ジャーナリスト青木理氏らが独裁者による監視社会が始まっていることに警鐘を鳴らしたシンポジウムの記録。

ヤジと公安警察

青木 理、竹信航介、ヤジポイの会:編著 寿郎社

A5判並製 70頁 2024年5月刊 ISBN:9784909281586 1,210円